家庭科学習指導案

　　　　　　　　授業者　T1 担当教諭

T2 栄養教諭

１　題材名　『いっしょにほっとタイム』（１／２）

学　級　５年　組　名

２　本時の目標

　　「家族とのよりよい関わりについて」

Ａ　家族と食事をすることでほっとすることができるととらえている。

　　・食事以外での触れ合いや団らんの過ごし方について考える。

　　・お茶の淹れ方を学ぶ。

Ａ’触れ合いや団らんの場を楽しくする方法のひとつとして、お茶を淹れることがあるととらえる。

３　授業過程

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 活動 | 学習活動  （○教師の働きかけ・予想される児童の反応） | ◇留意点　＊支援　【評】評価 | 形態 |
| つかむ  追究する  ・  深める  まとめる  ・  つなげる | * 一日の中で家族が集まるときは、どんなときがありますか。（T1）   ・夕ごはんのとき  ・車で出かけるとき  ○そのときお話するね。どんなお話するのかな。（T1）  ・ゲームの話  ・学校のこと  ・友だちのこと  ○そのときは、どんな気持ちですか。（T1）  ・楽しい  ・ほっとする  団らんで楽しく過ごすためにどんな工夫をすればよいのだろう  　・みんなが知っていることを話す。（共通の話題）  　・お茶を淹れるという方法もあるんだね。  ○お茶の淹れ方について知ろう。（T2）  　・茶器の名前と扱い方  　・淹れ方のポイント  １．お湯の温度　70℃位（湯呑を触って確認）  ２．お湯の量（湯飲み８分目）  ３．茶葉の量（小さじ１杯）  ４．浸出時間（一煎目は１分）  ５．まわし注ぎ、最後の一滴  　・二煎目の淹れ方（浸出時間：口でカウント10秒）  　・三煎目の淹れ方（浸出時間：すぐ）  　３人グループでお茶を淹れる（一～三煎目まで）  ○学習したことをどのように生かしてみたいですか。（T1）  ・お茶の淹れ方をみんなに披露しながら、お茶でリラックスできることをお話する。  ・家族と相談して買い物メモを作り、一人で買い物に行き、たくさんの商品からお茶菓子を選んでもらい、一緒にお茶を飲んでみたい。  ・お茶菓子を作って、一緒にお茶を楽しんでみたい。 | ◇家庭学習で、【動画】「お茶のれ方～お湯の温度をかえて淹れてみましょう」を見て、ワークシートにポイントを記入しておく。  ◇親しい人たちと集まって楽しく過ごすことを「団らん」ということをおさえる。教科書ｐ73  ◇団らんでの飲み物にどんなものがあるか考えられるようにする。その中のひとつにお茶があることを知らせる。  ◇静岡県の特産物のお茶について小学校４年生社会科で学んだことを思い出せるようにする。  ◇ワークシートのポイントをおさえながら、デモンストレーションを行う。ポイントが多いため、T2のひとつの動作の後、すぐに児童も動くようにする。（お湯を湯冷ましに入れたら、児童もお湯を入れるなど）（T2）  ◇お茶の成分「テアニン」のリラックス効果とテアニンを味わえる淹れ方があることについておさえる。（T2）  ◇家庭でお茶を楽しむポイントを伝える。  ◇各テーブルに淹れ方の指導にまわる。  【評】思考・判断・表現  　触れ合いや団らんの場を楽しくする方法のひとつとして、お茶を淹れることがあることがわかる。  ・ワークシートから評価 | 全  ５  分  全  35  分  個  ↓  全  ５  分 |